



**Doado pelo
Povo Japonês**

草の根・人間の安全保障無償資金協力

日本国政府、パラナ州バンデイランテス市慈善病院に対し医療器材を供与

平成26年10月17日、平成25年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「腹腔鏡下手術セット整備計画」（供与額：総額US\$87,837（約207,225レアル））の供与式がパラナ州バンデイランテス市の慈善病院において行われました。供与式には、池田敏雄在クリチバ日本国総領事、カルロタ・レンシ・メネゲル・バンデイランテス病院援護協会会長、ジョン・カルロス・フェヘイラ理事長、ドミンゴス・ミヤシロ理事、テルオ・カトウ州議員、ホメウ・フルラン・バンデイランテス副市長、クニオ・オチアイ・バンデイランテス文化体育協会会長、病院職員、地元や報道関係者ら約40が出席しました。

バンデイランテス病院援護協会が運営するバンデイランテス慈善病院は1946年に設立され、現在では第二次保健医療施設として、同市に隣接する7市住民に対し、地域医療の中核的医療機関及び救急病院として医療サービスを提供しています。同病院は毎年1000件以上の手術を実施していたにもかかわらず、多くの患者が手術の順番を待っていた。こうした現状を改善すべく、日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力のスキームを通じて従来の開腹手術に比べ、手術後の患者への負担が軽く、より効率的な低侵襲手術が実施出来る腹腔鏡下手術セットの購入を支援することとなりました。同プロジェクトを通じて、同地域の医療サービス環境が改善されることが期待されてます。

供与式でヴァルテル・ジオバニ理事長は同病院の医師や職員を代表してお礼を述べ、供与された医療機材は同慈善病院のみならず、地域全体にも重要な役割をはたす旨のべた。

続いて、カルロタ・レンシ・メネゲル会長は、日本政府を代表する池田総領事および同案件を仲介したテルオ・カトウ議員に感謝の意を述べると共に、治療の良い結果を得るための適切な医療機材の重要性を申し上げ、日本に供与された腹腔鏡手術セットは手術を受ける患者の負担を和らぐ旨述べた。

続いて、テルオ・カトウ州議員はバンデイランテス市及び病院関係者にお祝いの言葉を述べると共に、複数自治体での社会開発プロジェクトを支援してきた日本政府に感謝の意を述べた。

最後に池田敏雄総領事は、日本国政府はバンデイランテス慈善病院に対し腹腔鏡下手術セットを供与することができ、大変喜ばしいと思う旨述べ、日本国政府および日本国民を代表し、同支援で供与された機材が有効に活用され、バンデイランテスの医療サービスの向上につながることを期待すると共に、日伯両国の友好の絆を一層強化される事を願う旨述べました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は日本国民の納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援することを目的としています。在クリチバ日本国総領事館は、今後も草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、パラナ州及びサンタカタリーナ州の社会開発に貢献していく方針です。

【お問い合わせ先】
在クリチバ日本国総領事館
草の根・人間の安全保障無償資金協力
Tel : 041-3322-4919
Email : cgjapc@c1.mofa.go.jp



スピーチをする池田総領事



供与された医療機材



(左から) ジョン・カルロス理事長、クニオ・オチアイ ACEB 会長、ホメウ・フルラン副市長、テルオ・カトウ州議員、カルロ
タ・メネゲル会長、池田敏雄総領事、池田暁美総領事夫人